

聖学院大学オープンキャンパス講演「これから必要な就活基礎知識」

▽2011年5月28日

▽大学ジャーナリスト・石渡嶺司

①大学・学生を巡る環境、こんなに違う

i. 高校卒業後／高卒、専門学校卒、大卒の価値

1982年) 大学進学率30.6%、就職率42.9%

1992年) 大学進学率32.7%、就職率33.1%

2010年) 大学進学率54.3%、就職率15.8%

※2010年の大学進学率、浪人も含めると56.8%

※2010年の専門学校進学率は15.9%

1980～1990年代まで)

高卒就職：いわゆるブルーカラー

専門学校進学・卒業：福祉や医療など専門知識を学ぶ

大学進学・卒業：いわゆるホワイトカラー、幹部職候補生

↓

2010年代)

高卒就職：ブルーカラー、ただし高校では優秀

専門学校進学・卒業：大卒者の流入、医療・福祉分野の壊滅、粗製濫造などで混沌

大学進学・卒業：ホワイトカラーだが、ブルーカラー層も拡大。全員が幹部職候補生というわけではない

ii. 女子高生／女性社員の扱い

1980年代) 「女とゾウキンは使い捨て」(月刊教育の森1981年8月号)／結婚はクリスマスケーキと同じ／自宅外・通勤時間1時間30分以上禁止／主流は「短大に進学→一般職に就職→25歳前後で結婚退職、専業主婦」／男女雇用機会均等法／就職率では常に男子学生より下回る／1989年の係長クラスに占める女性比率5.0%

2010年代) 結婚年齢の上昇・非婚化／女性の登用進む／2000年以降、女子学生の就職率、男子学生を上回る／「就職の評価ポイントだけ考えれば女子学生ばかり」／一般職の衰退／主流は「大学に進学→総合職に就職→30代

で結婚・出産→育児休業後、復職？」／2009年の係長クラスに占める女性比率11.1%、課長クラス5.0%

iii. バカ学生の質

●高校の履修内容

1980年代) 1980～1992年の学習指導要領／履修科目多い

2010年代) 2002～2010年の学習指導要領／履修科目少ない

※情報、家庭科、総合学習の時間などの必修化、週休2日制

※数学I、物理、化学、生物が必修から外れる

※2011年学習指導要領から数学Iは必修に復活

●教養教育

1980年代) どの大学でも2年間の教養課程あり→1991年まで

※当時は、専門分野が学べないと経済界中心に非難轟々

※1991年、大学設置基準の大綱化で教養教育廃止

2010年代) どの学部でも学部の専門教育中心→専門分野は学べるが、教養不十分な学生が続出

●読書量・ネット・携帯電話

1980年代) ネット・携帯電話なし、読書量そこそこ
→典型例が「異性への電話」

2010年代) ネット・携帯電話あり、読書量激減中

●結果

%の意味が分かりません

文章の書き方ってなんですか？

日本の首相って誰だっけ？

※できないのは全大学共通

※東大・早稲田大でも文章指導や補習教育のセンターを設置

②今の就活、失敗するパターン

i. ネット

ディズニーランド不正入場事件、某ファーストフードゴキブリ事件、アディダス事件など

→余計な書き込みで、内定取り消し、解雇、高校中退など

→20代以下は特に注意

ii. 人と会わない、失敗が怖い

→親が知人友人を紹介しても「何話していいかわらないからヤダ」

→全大学・就職課職員共通の悩み「ちょっと怒ったら人格否定と言われた」

→特にこの数年、長期化・早期化の影響で疲れ果てる学生続出

iii. 大企業・人気企業にこだわり過ぎる

大卒に幻想持つ親の影響、強すぎる？

→いわゆる人気企業100社の求人数2万人前後、主要企業1000社で7万人前後／東大早慶クラスの卒業生数5万人、マーチクラスなど上位校の卒業生数16万人

→リクルートワークス2011年調査／全体の求人倍率1.23倍、従業員数1000人以上の企業0.65倍、1000人未満企業1.86倍

iv. 基礎的な教養の不足

1980年代) クレペリン検査など

2010年代) SPIなどの適性検査を選考初期に実施

→計算問題、国語などを出題

→一定の得点が取れないと選考不合格

v. 書く能力、話す能力が不十分

1980年代) 選考書類は履歴書、選考回数少数

2010年代) 選考書類はエントリーシート、選考回数増加、グループディスカッションなども

→「あなたが一番笑顔だったときを教えてください」

→「10年後、どんな仕事をしていきたいですか？」

→「イチローの10年後の年収を算出しなさい」

③高校生のうちから大卒就職のためにできること

i. 高校の勉強、部活

ii. オープンキャンパスでは取りあえず質問

iii. 親子の会話を増やす

iv. 新聞・読書の量を増やす

v. 資格にこだわらない

→文系学部の場合、福祉系学部以外では資格の有無は就活には影響せず

- vi. 有料就職セミナー・就職率にだまされない
- vii. 【親向け】就活の費用を覚悟する
 - 2011年卒で8.9万円（レジェンダ・コーポレーション）
 - 長期化した場合、数十万円以上の学生も
- viii. 【親向け】場合によっては留年ないし大学院進学も
 - 大学の勉強からアルバイト、大学生活、就活対策まで全部を4年でやるのは限界
 - 海外留学、旅行、ボランティアなど積極的な理由での留年を評価する企業、増加中
 - 教員などは教育の中心が大学院に移行中
 - 怪しい有料セミナー、長引く就活の費用などを考えればむしろ経済的？

④参考

●就活・大学生活の参考書籍・マンガ

『働きママン1年生』 おぐらなおみ、メディアファクトリー

※育児・仕事を両立させる女性のエッセイ漫画

『就活のバカヤロー』 石渡嶺司・大沢仁、光文社新書

※就活の現状をルポ

『大学生がだまされる50の危険』 三菱総合研究所 青春出版社青春新書

※大学生がはまる危険を徹底解説

『すべらない就活』 原田康久、中公新社

※就活マニュアルだが、数少ない読む価値のある就活本。読み物としても◎

●大学選びの参考書籍

『時間と学費をムダにしない大学選び2012』石渡嶺司、山内太地 光文社

※全900ページ、進路未定から福祉・医療系まですべて網羅

進路相談・就職相談等、お気軽にどうぞ！

ツイッター：@ishiwatarireiji

ブログ：<http://reiji0.exblog.jp/> メール：namio@eurus.dti.ne.jp

就活コラム「みんなの就活悲惨日記」連載中

<http://diamond.jp/category/s-tragedy>